

C(米杉)、ウリンがなっている。一般的な主力。米杉はBC州沿できに加え、カーポーター大手インターフォート、ウォールフェンスが多く、かつては関西各種屋外木造施設など最大の取り扱い問屋で多様な分野に対応。

あった。本社内の工場では独自に塗装も行う。施工は長年ともに仕事をしている大工が専門に対応、関西一円をカバーする。

本社2階は各種デックのシヨールームとも

## 米杉輸入で全国有数

九州木材工業

### 現地有力メーカーと直取引

保存処理木材「エコアールウッド」を中心に、高耐久木材の販売を幅広く手掛ける九

(カナタ産WRC)は、全国水準で見ても豊富な在庫を持ち、九州内外に販売。現地有力メーカーとの直取引で、長年安定した関係を保っている。サイズは長さ14<sup>ミ</sup>を中心に、2×4、6、8、10、4×4などがあり、売れ筋商品のラティス(1200×1800<sup>ミ</sup>、枠なし)はクロス、スクエアタイプがある。国産材を含め、ほかの樹種にはない色合いを持つことから、今後も継続的な販売を目指す。

一方、外構用の枕木として、ケンパス、ブラッドウッドなどを輸入。これらも現地取引先を自ら開拓してのり扱う。